

議長定例記者会見 会見録

日時：平成29年4月13日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の発言事項

冒頭の挨拶

2 質疑項目

第27回全国菓子大博覧会・三重について

選挙区調査特別委員会について

第27回全国菓子大博覧会・三重について

選挙区調査特別委員会について

復興大臣の発言について

シリア攻撃について

東芝について

1 発表事項

冒頭の挨拶

(議長)ただ今から、4月の議長定例記者会見を開催いたします。年度も改まりましたが、本年度も引き続き、県議会として県民の皆さまの負託に応えられるよう、県民福祉の向上と県勢の進展にしっかりと力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。さて、今回は、私からの発表事項は特にありません。ただですね、今胸にバッジも付けておりますが、間もなく私の地元の伊勢市で開催される「第27回全国菓子大博覧会・三重」(お伊勢さん菓子博2017)について、少し話をさせていただきたいと思ひます。全国菓子大博覧会は、ほぼ4年に一度開催されてきた、100年以上の歴史がある日本最大級のお菓子の博覧会です。東海エリアでは、1977年の静岡開催以来の40年ぶりの開催で、三重では初の開催となります。三重は古くから、お伊勢参りに全国から訪れる多くの人々を街道沿いの菓子でもてなしてきたという歴史があり、今回の博覧会のテーマも、「お菓子がつなく「おもてなし」を世界へ」となっています。全国各地からお見えになる方々にはぜひ、三重ならではの「おもてなし」を体感していただきたいと思ひます。先般、地元で会場の一斉大掃除をボランティアの方々にしていただきました。また、期間中もボランティアの皆さんを募集させていただいたところ、600人を超える方々の応募がありました。既に研修も済ませておりまして、伊勢志摩サミットに引き続いてこの菓子博をとということで、地域の方々が県内からおもてなし

に向けての思いが集結していると思っております。また、次代を担う子どもたちに夢、希望、そして感動を感じてもらうことをコンセプトに、過去実施された菓子博では行われたことのない、県内の高校生、専門学校生による工芸菓子、この工芸菓子の作成は、現役の菓子職人でも非常に難度が高く、今回参加する高校生、専門学校生は初めての挑戦で、この工芸菓子の展示もでございます。私はこの話を聞いて、和菓子職人に特に若い人たちが、この世界に入っていただけないかと期待をしているところです。また、地元の名産である、あおさ、お茶、柑橘類を使用した新しいお菓子の発表もでございます。この中には高校生のアイデアをプロの職人が商品化した、そういったものもあると聞いております。この菓子博をきっかけに新しい三重県の名産が出来るのではないかと大いに期待しているところでございます。県議会としても、来場目標者数である60万人の方々に大いに楽しんでもらえる博覧会となりますようしっかり応援していきたいと思っております。なによりも、地域の方々から聞かせていただくと、どれだけ楽しいところかといった情報が流れてこないという声もありますので、今日お越しいただいております報道関係の皆さんには助けたい、そんな思いを申し上げまして、私からのコメントとさせていただきます。

2 質疑応答

第27回全国菓子大博覧会・三重について

(質問) 全国菓子大博覧会に向けて、県議会としてしっかりと応援したいとのことでしたが、今のところ考えられている応援の仕方であったり、これまでどうしてきたのか、もし具体的にあれば教えてください。

(議長) 三重県議会としては、菓子博の事務局体制がどうなっているのかわからないのですが、目前の課題が一杯で情報が流れてこないという感じもありましたので、ぜひパンフレット等をお取りいただいて、私も付けておりますがバッチ等を付けていただいて、とりあえず各議員の方がまわりに声をかけていただくこと期待しているところであります。情報が流れてきたら出してもらえるようお願いもしているところですが、特に伊勢志摩地域から離れるにしたがって少し薄くなっている感じがしますので、残りの期間、各議員の皆さんに一生懸命お声をかけていただきたいと思いますと思っております。

選挙区調査特別委員会について

(質問) 今、県議会で区割りの議論をしていますが、なかなかまとまっていなように感じます。たまたま国の方と並行して取材して思うのは、国は政治家を関与させたら選挙区の区割りは決まらないということで、政治家の関与を一

切排除する形で議論しているところですが、今の県議会の成り行きを見てみますと、なかなかご自身たちが選ばれる政治家本人が議論するということの難しさを感じるのですが、そのあたりいかがですか。

(議長) 前も申し上げたのですが、私も前の選挙区調査特別委員会の委員として、議論もさせていただきました。以前は委員長として関わらせていただきました。おっしゃるとおり、自分たちの区割りを決めることの難しさは肌で感じているところでありますし、今行われている議論は16回されていますけど、その経過を見るにあたって、本当にこれは大変なことだと思います。ただ、選挙区のこと、現地の状況とか県民の皆さんの意向とかを知り尽くしている委員が地域のそれぞれの住民の声をしっかりと吸収して議会の場で反映させる形にするにはどうしたらいいのか、その議論からいけば、議員が議論することも価値があるのではないかと、議論を尽くせばその先には、いい形でまとまってくれるのではないかと。今回は少し難産をしているようでございますが、きっといい答えが出るのではないかと期待をしているところです。

(質問) 今回のことは進んでいる最中ですが、長い目でみても、議員さん自身が今後同じようなことがあったとしても、議論していくというスタイルはよいということですか。

(議長) そうですね。今回の結果が大分裂してしまったりとかしたら、少し考える必要があるのではないかと思います。各議員の真剣な議論の真っ最中でありますので、その先の思いは少し控えさせてもらいますけれども、今の議員の力量に委ねたいとそんな思いをもっております。

第二県政記者クラブの方も含めてお願いします

第27回全国菓子大博覧会・三重について

(質問) 菓子博ですけど、協力体制っていうので、中村議長はご自身の選挙区で開催のイベントなんで、特に関係されると思うんですけど、例えば、議長自身の後援会とか、関係団体等に今回のやつで、動員をかけられて、そういう紹介をされたりとか、そのへんのことってというのは今までやられてきているんですか。

(議長) 具体的にチケットを販売とか、そういった行動はしておりませんが、先般、自分自身の勉強会ですか、100人ちょっと寄ったんですが、その場では菓子博の中身、自分の知りえる範囲内でお話さしてもらって、そしてまた、一番新しいパンフレットいただいて、しっかりと読んでいただいて、こんなに

楽しいものであるということを理解していただいて、そういった方たちから、周りの方にまた声をかけていただきたいという願いをさせていただきましたし、いろんなグループに入っておりまして、例えば労働組合なんかもそうですし、それから婦人会の関係とか、そういったところに入っている皆さん方はしっかりとチケットを買おうということで浸透しているようでございます。まだの方、見つけたらまたよろしくと、伊勢市内は結構出てるような感じはしております。ですから自分の範囲内でお願いをしていると、そんな感じです。

(質問)ただ、ぶっちゃけていうと、当初、津市で開催っていうのが決まってる、それが伊勢へ鞍替えたじゃないですか。もともと津市が受けてたわけだから、津市というか、津のお菓子の協会が、和菓子中心ですけど、ただ、津市の場合には大きな資本の和菓子店がなくて、とても運営できないだろうということで、結局、伊勢、赤福さん中心に、そっちの方に移ったわけですけど、だから、行政間で、温度差があって、津市が開催なら津市は力入れたけど、伊勢市に行ったんで、伊勢市さんがやられるんだろうという形で、どっちかということちょっとトーンダウンしてるし、そういう点からいくと、県議会の中でも、そういう選挙区の関係で若干、議会全体として菓子博の動員とかそこに関して温度差っていうのはないですか。

(議長)直前に、伊勢志摩サミットがあったものですから、伊勢志摩中心にみたいな感じがあったんですけども、なるべく三重県全体へ広げようということで、かなり大規模にやらせていただいた。オール三重県というイメージがあったんですけども、その直後ということで、なかなか、伊勢志摩サミットと比較されるみたいな雰囲気からいくと、若干、おっしゃるとおり地域性に偏ってしまっているみたいなところがあるかもわかりませんが、私も事務所で状況を聞かせてもらいましたら、会場の真ん中辺に、名前は「いせ舞台」ということですが、そこに、まつり博のときと同じように、いろんなところですね、県外も含めて、その舞台を毎日一定の期間、そこをお借りして、そして、今日は、津が入っているかどうかわかりませんが、津の日とか、松阪の日とか、伊勢の日とか、あるいは、福島県の日とか、いろいろ全国的にですね、確か124、今のところ124くらいの時間を設けて、なるべくいろんなところに関わってもらおうと、事務局としてはですね、各地域に声をかけて市町も含めてですね、やってるなという雰囲気は、感じました。議会の中は、なかなかちょっと、そこまで、各議員がどれだけご協力いただけるか、そんな感じですね。

(質問)だから、元々、県議会議員の方のそれぞれに、後援会なり、要は選挙

で支援していただいた団体とか含めてですね、そこに1万とか、1万以上の数の方がぶら下がってるわけじゃないですか。基本的にそこへ働きかければ、仮に1割だとしても、その千人やそこらは動員が効くわけで、そののところをまず汗かかないと、その全体の機運は盛り上がらないじゃないですか。それからいったら、そういうのは図られてんのかということですよ。だから伊勢の選出の県議会議員の方の中に、要はこの菓子博で、県予算を出せというふうなことを委員会等で、おっしゃったりした方もいますけど、予算つける云云とかよりも、まず、ご自身達が隗より始めよで、汗かかなかつたら、他、動きようがないじゃないですか。そのへんの雰囲気は議長、どうお考えになっていますか。

(議長)まさにおっしゃるとおりで、みんなこれから、それぞれの後援会お持ちなので、声をかけていただきたいなという期待はありますけども、命令するわけにもいきませんし、協力体制を求めるということは大事ななというふうに思いますね。

(質問)表だって代表者会議で、こういう要請ってされてましたっけ。つまり菓子博が近いんで、皆さんお願いしますね、みたいな話は出ましたっけ。

(議長)議会としてというよりは、事務局から情報発信ぐらいのことですね。チラシを各議員のところにおいて頂いているぐらいですかね。ちょっと、そろそろ後、9日になってまいりましたので、今のアイデアというか、当たり前のことだと思っんですが、そのへんもしっかりと声をかけさせてもらわないといけないと思いますね。

(質問)温度差って言われて、まつり博、例に出されましたけど、まつり博のときには、あの時、まだ合併前ですから、69市町村県内にありました。その69市町村デーというのをやって、全部の市町村が参加してましたけど、今回29市町のうちで、市町村デーに当たるような形で参加するのは13市町ですよ。残り16は要は出ないって話で、それは自前で金払わなければいけないから予算上組めないってことで、出られないわけなんですけど。そういうこと含めてね、ちょっとバラつきありませんか。

(議長)あの中身を見ると、市町というだけではなしに。

(質問)県内の13市町も含めてですよ。要は29のうち、13、約半分以下しか出てないじゃないですか。

(議長) 22市町。

(質問) 22に広がったんですか。

(議長) 昨日、行ったら、もうほとんど隙間がない、なんかのために開けてあるところも予約を入れてしまったみたいということを書いてました。今回は県外とか、一般企業の皆さんとか、それからいろんなボランティアされている皆さん方も、その間へ入らせていただきたいみたいな、そんな声もどんどん来ているみたいなんで。私も前から情報のね、出が少し弱いんじゃないかということでも何度か事務局にお話しさせてもらっているんですけども、確かにスタートとか、いろんなことで、頑張っている人数の方々の関係もあってか、大変、交通の便とかの関係とかですね、いろいろ苦労はされているみたいなんで、我々ももっと動かないといけないということを切実に感じております。

(質問) 今、議長が聞かれている範疇で、元々、動員目標60万枚チケット売るという目標が立ってるじゃないですか、事務局の中で、経営計画上の。議長がお聞きになっている範囲で、今、チケットというのは何枚売れてるのですか。

(議長) 30万ちょっと、32万くらい。ただ交通機関とか観光関係とかそういったところにおいて確実に上がってくる部分とかも含めるともう少し増えてくるんじゃないかという雰囲気はちらっと聞いているので非公式ではもう少しいっていると思いますし、始まってしまうと、交通規制とか大変なことになるくらい来てしまうんじゃないかというイメージはあります。

(質問) 単純計算で、まつり博半年やりました。180万人くらいでした、全体の確か来場者。だけど、この菓子博の場合に、仮に最低の60万人きたって4月21日～5月14日の期間じゃないですか。ということは1日に2万5千人くらいこないとだめなわけでしょ。平日含めて。しかもGW狙っているのかもしれないけど、春休み終わって、その段階で1日2万5000人伊勢まで行くっていうのは、神宮を別にすれば、結構クリアできない数字だと思いませんか。

(議長) 伊勢神宮の観光客もすごく伸びているので、そのへんとの連携というか、内宮と菓子博の会場の往復の交通のバスを出したり、そういったところも準備をしているみたいなので、今いろいろ仕組んでいる状況が、どれだけ効果を表すのか、ちょっと期待もしているんですが、2万何人が毎日ということに

なってくると。

(質問)まつり博よりつらい目標値ですよね。向こうは期間が長かったから。

(議長)集中することが、逆に心配な所もありますね。特に連休なんかの地域の交通網がちょっと心配ですけど。

(質問)あと、議長という立場で菓子博の事務局にどのくらいお話しができるのかわからないですけど、会場に入るだけの入場券の当日券が2000円で、前売券が1500円から始まって今1800円ですね。それで後出しのかたちで出てきている駐車料金が1台につき2000円とられるじゃないですか。

(議長)土日が2000円で、平日が1000円という、そういう情報は流れてきています。

(質問)これ、土日にしろ、逆にチケット代よりも高い2000円とるっていうのは、これについて議長として、ちょっとそれは逆に動員下げるんじゃないかとか、元々あそこってお金とってない所じゃないですか。なのに、急に有料になると聞くと経営計画上60億の売り上げの算出すると、どうしても足らずの部分があるので、それを駐車場料金にオンさせてみたいですけど、そのことについてご意見されたことはあるんですか。

(議長)議長という立場ということではなしに、先ほどもおもてなしという言葉を申し上げましたが、伊勢の人たちはご遷宮からそうですけど、比較的そういった駐車場については、寛容で無料に近いかたちであるいは金額も抑えるというイメージが強かったんです。で、今回2000円とか1000円とか出てきたもんですから、おもてなしをする側の市民の気持ちとしては高いんじゃないかという声があちらこちらにありまして、今も私のところにも、そういった声が届いているということもあって、少し様子を聞かさせてもらいに行きましたら、これをしないと、採算がなかなかとれないんだというお話を聞かさせていただいて、そうなんですかねーと不承不承引き下がってきたという形はありますけど、議長からこれをもってなんとかせえ、というのはなかなか難しいですが、県民・市民の声としては、少しそういうのがあったんですが、これをとらないと運営できないというのであれば、致し方ないので、それだけのお金を払って、それ以上の中身が期待できるようなものにしていただけるように、今期待をしているところです。

(質問)おもてなしの心からいったって、元々駐車料金とっているということ自体がおもてなしの心に反するんじゃないかという言い方もあるし、他の観光地と比べると、高いか安いかわけにして、元々とってなかったところで、とっているっていう、今回の菓子博だけじゃないですけど、内宮近くの公園があるじゃないですか、公園のところの駐車場、今有料になっていますね。あれかつて会計検査院が調査に入ったことがありましたよね。なぜかって公園整備して、国のお金も出て、公費出て、公園を整備したのに、そこで有料駐車場をするっていうのは、本来けしからんということで、会計検査院の調査が入ったことがありました。そういうのからいくと、元々そのへんが観光地にありがちな、何でもかんでも銭にしようやという感じが、なきにしもあらずじゃないですか。それっていうのはおもてなしの精神には反しないんですか。

(議長)事業なので、運営ができないと言われると仕方がないのかなという感じはします。確かに、おもてなしという面からいくと、なるべく駐車料金は安い方がいいと思いますが。高いという声は、もう行く決めてる人から声はありますね。

選挙区調査特別委員会について

(質問)あと、選挙区調査ですけど、新政みえから出てる案等で、三谷委員が元々1人区はあかん、1票の格差もあかんというふうな、そこを前提に進めたいというお話で、新政みえ案出されてますけど、新政みえ案だけじゃなくて、県議会全体に言えるかもしれませんが、1人区はだめだという論理になってるんですけど、1人区はだめという論理を議長はどう思われますか。

(議長)私も1人区はだめというか、なるべく死票といいますが、そういったものをなくすといった意味から、少々面積は広がっても、複数人区が個人的にはいいんじゃないかと思っておりますが、今回の議論については、特別委員会に委ねたいなと思います。自分自身の意見は・・・思いはありますけど。

(質問)実際問題、国政選挙、衆議院小選挙区そのものが1人区じゃないですか。国政でやっていることが、なんで地方の選挙に適応されないんですか。過疎地だからこそ、定数が1に減っているのであって、これっていうのは、党派の色がついた人が一人必ず当選する、っていうのではなくて、争うわけですよ。いろんな党が。いろんな候補者が。だとしたら、そこですでに選択されているわけですから、選ばれた議員が4年間やってみただけ、何の実績もないなと思ったら、これは衆議院の小選挙区と同じように、次の選挙の時に他の人に変えればいいいわけで、そこでは有権者の自由選択意志っていうのは保障されて

いるじゃないですか。だから人口過疎地域で1人区をなんとかしようということが元々無理があると思います。

(議長)なるべくたくさんの住民の皆さんの声を吸収できる形をとるのが、今の時代なので交通網も過疎地の方も発展してきているので、できたら少し面積を広げてそこから複数で出てくるという形もありではないかとそんな感じはします。なるべくたくさんの皆さんの声が反映できるような形をとるにはどうしたらいいのか、そちらを選ぶのか、今おっしゃったような形を選ぶのか、そのへんで分かれるところだと思います。

(質問)具体問題として選挙区調査の委員長とか何回か委員をやられてるのでお分かりだと思いますけど、1人区をいじって、例えば数増やすという案が今新政みえで出てますけど、多気の方でね、合区はあるけど。だけどそこやれば、今度、逆に1票の格差が解消できないじゃないですか。この矛盾抱えたままの案というのが出てきているので、そのへんは何か議長としてお考えないですか。

(議長)すべてがすべて、国の通り、あるいは1票の格差の数字もそんなにめちゃくちゃ開いているのかどうなのか、そのへんの判断はそれぞれの県の、あるいはその地域の状況によると思うのですが、議論を詰めて格差問題をしっかり議論して頂いておりますので、委員会の議論に委ねたいなというふうに思っております。

復興大臣の発言について

(質問)今村復興大臣が東北、福島の実れない人達が自己決定、自己責任で戻れないんだろう、場合によっては国を訴えたりしたらどうかみたいなことをおっしゃって、謝罪はされてましたが、会見模様はどうでもいいんですけど、記者を恫喝したとか、要はそういう考えの自己決定、自己責任で、福島の実れない人達のそういう発言についてどう思いますか。

(議長)福島から普通にずっと生活をしてきた人達が、天災によって東日本大震災によって、放射能の関係もあるだろうし、他の関係もあるだろうし、戻れないって人達に対する対応というのは、当然、公が守ってあげるべきだというふうに私は思っておりますので、それと年数も経ってきておりますし高齢化も進んでおりますので、そういったことを考えると国を預かる方達が、軽々に責任を被害を受けた方達に押し付けに近いような発言というのはやめて頂きたいなというふうに私は思います。

(質問) 議長ご自身のブログの中には書いていますか。

(議長) 書いてないですね。そこまでは。

(質問) あれだけ安倍さん批判を書きながらこれは書いてないのですか。

(議長) 安倍さんの批判は今ちょっと止めてますね。

(質問) それまでは書いてましたよね。

(議長) 書いてましたね。

シリア攻撃について

(質問) トランプ大統領。平和論を展開されているじゃないですか、議長が。それからいくとトランプ大統領のシリア攻撃について何かご感想ありますか。

(議長) 昔のイラクですか、あの時の状況を少し思い出してしまいました。証拠とかそのへんがどこまであるのかメディアからの情報でしかないのかわかりませんが、ただ、私が心配しておりますのはそういうことがああいう行動に出て、された側というのが同じように報復を始めてしまう、そういった武力でものを解決するということには必ず終わりのないことが始まるのではないかと今の IS 自体がそういうことから生まれているので、そういった心配をしているところです。武力に武力で。

(質問) シリア攻撃というのは賛成しない、安倍さんが言うようにサリンを使ったと思われる部分について抑止力になるみたいな話というのは、議長としてはのめないですか。

(議長) 議長としてというか中村進一個人としては、何でもかんでも武力というのはいかななものかという思いを持っていますね。

東芝について

(質問) 東芝なのですけど、東芝メモリーという子会社作って、それを売るとい話になっていますが、県議会の場合、四日市選挙区に7人の議員の方がいますけど、それを含めて県議会としても東芝に何らかの要請しようとかそういう働きかけというのは今のところ動きはないのですか、それともあるのですか。

(議長)今のところはないですね。地域の財源も雇用も含めて重要な拠点なので、四日市の皆さん方からそういう声があれば対応できると思うのですが。ちょっと皆さん方も調査されている最中なのか、まだ私の方へは上がってないです。

(質問)今後あれば何らかのことを検討するということですか。

(議長)議会として何ができるかがあるのですが、できることがあればですね、地域にとって大変なことなので。

(質問)議会として何ができるかではなくて、既にシャープが来た時に、あのときは県の補助金絡みもありましたが、亀山を入れて135億円出してシャープ来ましたよね。そこからいくと補助金が適正に払われるためには、雇用の人数の規約があって、そこをクリアするかどうかでチェックしてたじゃないですか。それからいくと、東芝さんほどの大企業が増資するにしても、そこで何らかの県費の補助も実際あるわけだから、それからいくと道路アクセス一つ作って、それは間接的な県費補助ですよ。そういうことからいくと、県議会として監視機関の立場から見守る必要があると思いませんか。

(議長)しっかりと執行部側がどういう対応をしていくのかそのへんはチェックしていく必要があると思いますけど。

(質問)議会としても、当然雇用が確保できないかたちは止めてくれとか何らかのことを東芝に働きかける、そういう権利というか資格をもってますよね。だって県議会は県民の代表なのですから。

(議長)各議員からのそういった声があれば、しっかり代表者会議等で議論できればというふうに思いますけど。

(以 上) 11時08分 終了